PRESS RELEASE
報道関係者各位

ミドリ安全株式会社

2026年11月9日
ミドリ安全株式会社
https://www.midori-anzen.co.jp/

安全靴のサイズ選びも、AIで。
足型測定WEBアプリ「スマそく」に、AI画像解析機能を搭載
～スマホで撮るだけ、足長・足幅とおすすめサイズの目安を無料で表示～

安全靴や作業着等を販売するミドリ安全株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：松村 乾作）は、2023年から提供している足型測定WEBアプリ「スマそく」を2026年10月1日にアップデートし、AIによる画像解析機能を新たに搭載しました。これにより、足の測定精度が向上しました。

「スマそく」は、白いA4用紙とスマートフォンがあれば、専用アプリをダウンロードすることなく無料で使えるサービスです。案内に沿って足を撮影するだけでAIが画像を解析し、足長と足幅を自動で計測。そのデータをもとに、ミドリ安全製の安全靴・作業靴におけるおすすめサイズの目安をご提案します。

安全靴・作業靴をはじめ、外食産業の厨房や店舗で使用されるキッチンシューズなど、さまざまな仕事用シューズを選ぶ際にご利用いただけます。

ミドリ安全の安全靴・作業靴は、JIS規格に基づいてサイズを定めています。一方、靴のサイズ表記の基準はメーカーによって異なる場合があります。普段履いている靴の表示サイズが、そのままご自身の足のサイズを表しているとは限らないため、まずはご自身の足長や足幅を把握したうえで選ぶことが大切です。

スマートフォンで今すぐ利用できる「スマそく」：https://midorianzen.footbank.info
説明動画： https://youtu.be/u2TIv_oMXS8



AI搭載版「スマそく」の利用イメージ（画面は測定前の操作案内）



AIが左右の足長・足幅を1mm単位で測定。
安全靴・作業靴のおすすめサイズの目安を提案します。

測定時の注意事項（動画）：https://youtu.be/1kd4q44rGa0

自分の足の正確なサイズは、意外と知らない！？

「足のサイズ 測り方」のGoogle検索の人気度は、2022年以降の月平均が2016～2019年の約1.9倍となっており（※1）、正しい足のサイズを知りたいというニーズは高まっています。安全靴・作業靴を選ぶ際は、普段のスニーカーの表示サイズだけで判断せず、まずご自身の足長や足幅を正確に把握し、製品ごとの特長を考慮して選ぶことが大切です。

「スマそく」では、AIが撮影画像から足と用紙を認識し、足の最も幅の広い位置など、測定の基準にしたポイントを画面に表示します。どこを測ったのかを、ご自身の目で確かめられます。ミドリ安全は、安全靴・作業靴を選ぶ前のファーストステップとして「スマそく」でご自身の足のサイズを正しく知る機会を提供し、より適切で快適な仕事用シューズ選びを支援してまいります。

（※1）Google トレンド（日本、ウェブ検索）の人気度（相対値）。2016～2019年の月平均値と2022～2026年9月の月平均値の比較。

AI搭載版「スマそく」の特長

1. スマートフォンで手軽に測定：白いA4用紙とスマートフォンを用意し、案内に沿って撮影するだけ。専用アプリのダウンロードは不要です。
2. AIが足長・足幅を解析し、おすすめサイズの目安を表示：撮影した画像をAIが解析し、足長・足幅に加えて、ミドリ安全製の安全靴・作業靴のおすすめサイズの目安を表示します。
3. 測定の基準位置を可視化：AIがどこを基準に測定したかを画面上に表示するため、測定結果を視覚的に確認できます。
4. 安全靴・作業靴選びの第一歩として：安全靴・作業靴・キッチンシューズなどを選ぶ前に、まずご自身の足長と足幅を知る機会を提供します。

スニーカーと安全靴でサイズ感が異なる理由

JIS規格の安全靴は、実際の足の長さ（足長）と足囲または足幅を基準にサイズを表示しています（※2）。一方、欧米のサイズ体系を採用する一部のスニーカーでは、足のサイズではなく、靴型（木型・ラスト）の大きさを基準にした表記が使われる場合があり、そこにはつま先にゆとりを持たせる「捨て寸」が含まれています。このように、靴によって表示サイズの基準が異なるため、普段履いている靴の表示サイズだけで安全靴のサイズを判断しないことが大切です。

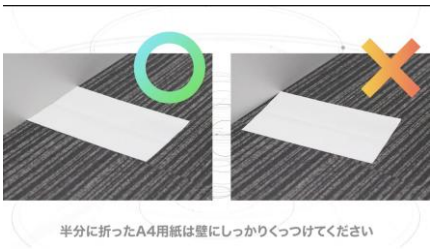
特に安全靴はつま先に硬い「先芯」を備えているため、指が先芯に当たらないかを確認することが重要です。逆にサイズが大きすぎても、靴の中で足が動きやすくなり危険です。だからこそ、まずはご自身の足長と足幅を測り、実際の足のサイズを知ることが求められます。厚生労働省のリーフレットでも、「足に合った靴は疲労の軽減、事故の防止につながります」と啓発されています（※3）。

※2 安全靴の規格（JIS T 8101）は、サイズを靴のサイズの規格（JIS S 5037）によると定めており、JIS S 5037は足長と足囲、または足長と足幅で表すと定めています。
※3 厚生労働省「転倒予防のために適切な『靴』を選びましょう」 https://jsite.mhlw.go.jp/kumamoto-roudoukyoku/content/contents/001029594.pdf

利用方法

1.「スマそく」にアクセスする（https://midorianzen.footbank.info/ ）
2. 白いA4用紙を縦半分に折り、壁につける（※白い床では正しく測れない場合があります）
3. 裸足で用紙に足を乗せ、人差し指とかかとの中心を用紙の中心線に合わせる
4. 画面の案内に沿って足を撮影する（用紙の四隅が写真に収まるように）
5. AIによる解析結果を確認する

測定前に、サービス内の「測定の注意」または動画（ https://youtu.be/1kd4q44rGa0 ）をご確認ください。対象年齢は15歳以上です。



半分に折ったA4用紙は壁にしっかりつける



人差し指とかかとの中心を紙の中心線に



用紙の四隅を写真にしっかり入れる

動画でわかる「スマそく」

安全靴のサイズ選びにおいて足を測ることが大切な理由から、「スマそく」で正しく測定するためのポイントまでを、動画でわかりやすくご紹介しています。初めてご利用になる方は、測定前にぜひご覧ください。
紹介動画：https://youtu.be/u2TIv_oMXS8



担当者コメント

「自分の足のサイズを正確に把握している方は、実はそれほど多くありません。普段履いている靴の表示サイズと、実際の足のサイズが異なる場合もあります。『スマそく』は、スマートフォンで手軽に足長や足幅を測定できるサービスです。安全靴や作業靴に限らず、キッチンシューズなど仕事で使用するさまざまな履物を選ぶ際に、まずはご自身の足を知り、その結果を役立てていただきたいと考えています。最終的には実際に履いて、ご自身の足に合うかを確認していただくことも大切です。」（ミドリ安全株式会社 フットウエア営業部 大塚）

【サービス概要】
- ■名称：足型測定WEBアプリ「スマそく」
- ■提供開始日：2026年10月1日（AI搭載版）
- ■利用料金：無料
- ■利用環境：スマートフォン・タブレットのWebブラウザ（アプリのダウンロード不要）
- ■対象年齢：15歳以上
- ■推奨ブラウザ：iPhone・iPadはSafari／Chrome最新版、AndroidはChrome最新版
- ■測定に必要なもの：白いA4用紙
- ■測定項目：足長・足幅
- ■表示内容：足長・足幅、ミドリ安全製シューズのおすすめサイズ目安
- ■開発：ミドリ安全株式会社
- ■URL：https://midorianzen.footbank.info
- ■撮影画像の扱い：ミドリ安全のサーバーに送信して測定し、一定期間経過後に削除（個人は特定されません）



プレスリリースに掲載されている内容、サービス、お問い合わせ先、その他の情報等は発表時点の情報となります。その後予告なく変更となる場合がございますので、ご了承ください。
リリースに記載されている会社名、商品名、サービス名等は、各社、各団体の商標または登録商標です。
最新の情報は、ミドリ安全.com（ https://midori-anzen.com/ ）でご確認ください。

【「スマそく」に関するお問い合わせ先】
【法人のお客様】ミドリ安全株式会社 フットウエア営業部
https://forms.midori-anzen.co.jp/contact/fw

【個人のお客様】ミドリ安全.comコールセンター
https://midori-anzen.com/support

【本プレスリリースに関する報道関係者からのお問い合わせ先】
ミドリ安全株式会社
フットウエア営業部 担当：大塚
TEL：03-3442-8293　FAX：03-3444-4508
MAIL： fw-tokatsu-eigyo@midori-grp.com